

デスカンファレンス・ファシリテーター研修会 報告

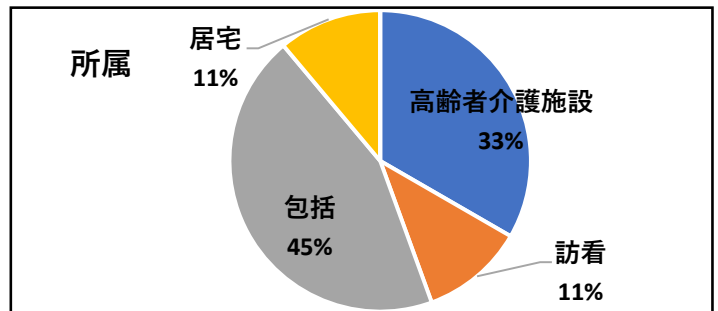
この研修会は、『デスカンファレンスの意義を再確認し、看取りケアの質を高めること並びに職員の精神的ケアにつなげる』ことを目的に、医療・介護現場で働く方々の知識・技術の向上を目指し開催しました。

日 時	令和8年 8月 31日(月) 18:00~20:00
開催場所	山形県立新庄病院 2階会議室
講 師	山形県立新庄病院 緩和ケア認定看護師 斉藤優子氏
研修内容	1. 講義 「デスカンファレンスの意義とカンファレンスの持ち方」 2. グループワーク(ロールプレイ)
参加人数	9 名

アンケート回答状況:参加者 9名、回答者 9名(回答率100%)

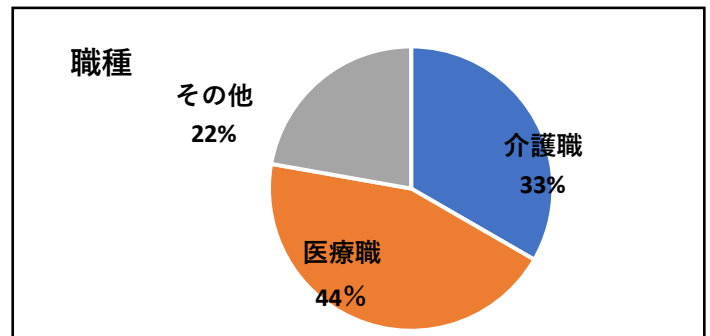
参加者所属

所属	人数	割合
高齢者介護施設	3	33.3%
訪看	1	11.1%
包括	4	44.4%
居宅	1	11.1%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	9	100.0%



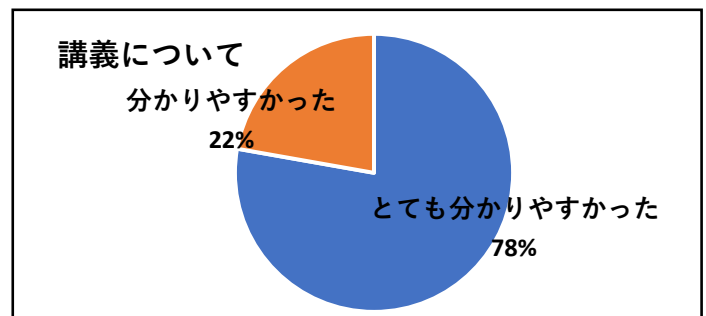
参加者職種

職種	人数	割合
介護職	3	33.3%
医療職	4	44.4%
その他	2	22.2%
無回答	0	0.0%
計	9	100.0%



1. 講義についていかがでしたか

	人数	割合
とても分かりやすかった	7	77.8%
分かりやすかった	2	22.2%
あまりわからなかった	0	0.0%
分からなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	9	100.0%

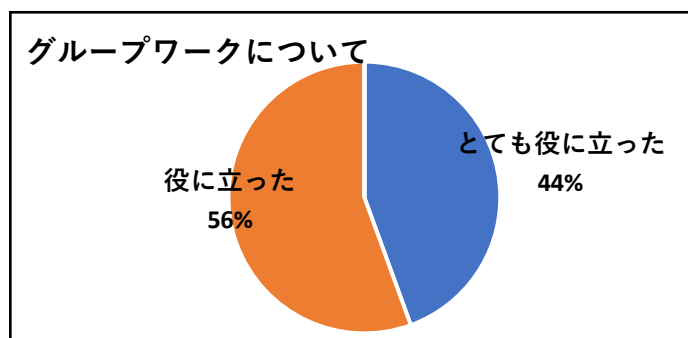


《とても分かりやすかった、分かりやすかった 主な理由》

デスカンファレンスを学ぶ機会が少なかったため、大変勉強になりました。

2. グループワークについていかがでしたか

	人数	割合
とても役に立った	4	44%
役に立った	5	56%
あまり役に立たなかった	0	0%
役に立たなかった	0	0%
無回答	0	0%
計	9	100%

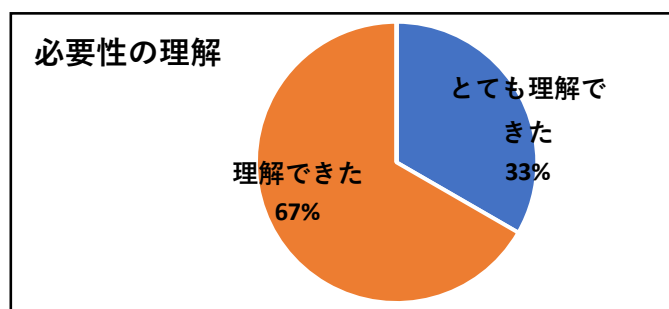


《とても役に立った、役に立った 主な理由》

ファシリテーターとして話を引き出し、まとめるのが難しい。

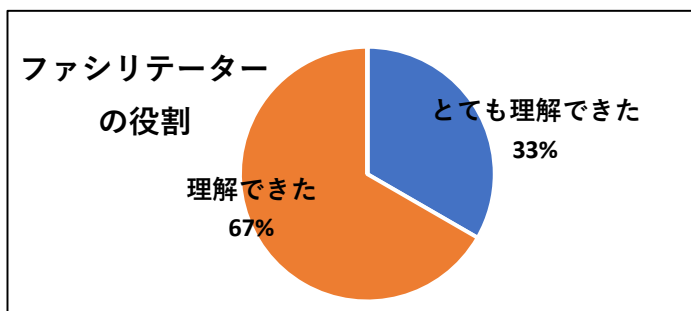
3. デスカンファレンスの必要性を理解できましたか。

	人数	割合
とても理解できた	3	33.3%
理解できた	6	66.7%
あまり理解できなかった	0	0.0%
理解できなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	9	100.0%



4. ファシリテーターの役割を理解できましたか

	人数	割合
とても理解できた	3	33.3%
理解できた	6	66.7%
あまり理解できなかった	0	0.0%
理解できなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	9	100.0%

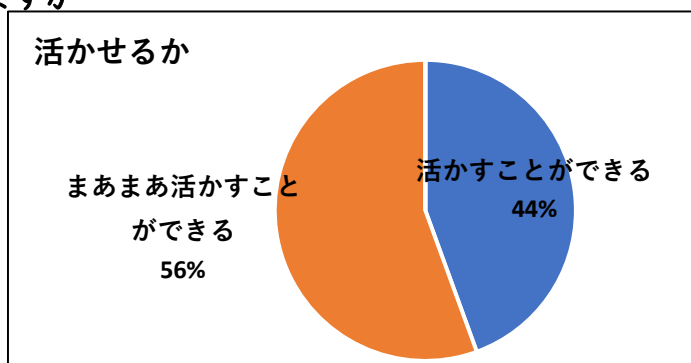


《とても理解できた、理解できた 主な理由》

経験をつむことが大切だと思う。

5. 今後のデスカンファレンスに活かしますか

	人数	割合
活かすことができる	4	44.4%
まあまあ活かすことができる	5	55.6%
あまり活かすことができない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	9	100.0%



グループワークのまとめ

1.それぞれの役割を体験して感じたこと

- ・違う職種を演じる時（表面的なことしか言えなかった）
- ・ファシリテーターは人の意見を引き出し、なおかつ膨らませて、うまくまとめられることが難しい。
- ・人の意見を引き出す難しさを感じました。
- ・次のケアに活かすところまで持っていけたら、ファシリテーターの役をやったかいがあった。
- ・人に共感する姿勢や雰囲気作りが上手だったので、真似したいところであった。
- ・何を話すか大事（問題点やテーマを絞る事）で人の意見を引き出しやすくなると思った。
- ・ファシリテーターは経験がなかったが、くり返すことで機会を増やしていきたい。
- ・振り返りを言葉で表現できなかった。
- ・お互いに想いを出せる場は増やしていくといいのか？
- ・第三者ファシリテーターで入ることがいい。（医療関係者中心になりがち）

2.多職種の視点を引き出し、情報を統合するために大切だと感じたこと

- ・中立的な立場で聞く姿勢が大切
- ・自分の職種は置いて、フラットな気持ちが必要
- ・事前にテーマを共有する

3.実際のデスカンファレンスで活かしたいこと

- ・事例を通して、実際のケースに活かしていきたい
- ・前向きなまとめで終わりたい

